

令和3年度 教育委員会 第3回定例会 議案

1 日 時 令和3年5月19日（水） 午後1時30分

2 場 所 教育委員会議室

3 日 程

(1) 開 会

(2) 報告事項

(3) 議 案

<非>第2号議案 令和3年度静岡県教員育成協議会委員の委嘱 …非

<非>第3号議案 県立中央図書館協議会委員の選任 …非

(4) 閉 会

第3回定例会 報告事項

番号	項 目	Page
1	令和2年度 教職員の健康診断結果及び長期療養者の状況等	1
2	SNSを活用した相談体制構築事業報告	3

令和2年度 教職員の健康診断結果及び長期療養者の状況等

(教育厚生課)

1 教職員の健康診断結果 (政令市を含む)

(1) 実施状況

(単位：人・%)

区 分	受診 対象 者数 (ア)	受診者数(イ) (受診率イ/ア)	左記受診者数(イ)のうち			
			要医療者(ウ) (割合 ウ/イ)	経過観察(エ) (割合 エ/イ)	異常なし(オ) (割合 オ/イ)	未区分等(カ) (割合 カ/イ)
県立学校	8,400	8,400(100)	2,357(28.1)	2,563(30.5)	3,469(41.3)	11(0.1)
県教委事務局	451	451(100)	101(22.4)	129(28.6)	221(49.0)	0(0)
市町立学校	18,390	18,385(99.9)	4,969(27.0)	5,205(28.3)	8,144(44.3)	67(0.4)
令和2年度計	27,241	27,236(99.9)	7,427(27.3)	7,897(29.0)	11,834(43.4)	78(0.3)
令和元年度計	24,873	24,865(99.9)	6,660(26.8)	7,179(28.9)	10,902(43.8)	124(0.5)
平成30年度計	25,117	25,098(99.9)	6,407(25.5)	6,998(27.9)	11,216(44.7)	477(1.9)

(参考) 知事部局の状況：要医療者割合 H30:34.7% R1:33.5% R2:36.2%

(2) 要医療者のうち勤務に制限のある者の疾病状況

肝機能系の障害、消化器系の疾患、高血圧症、腎機能系の障害、糖尿病による者が46.0%を占めている。

2 教職員の特別休暇(30日以上)・退職者(以下「長期療養者」という。)の状況(政令市を含む)

(1) 校種別の状況

(単位：人)

区分	年度			
	H20	H30	R元	R2
市町立学校	330	240	272	295
県立学校	156	129	145	135
事務局	6	5	6	2
計	492	374	423	432

(2) 傷病別の状況

(単位：人)

区分	年度			
	H20	H30	R元	R2
精神疾患	211	186	204	210
悪性新生物	85	46	65	50
脳血管疾患	18	11	10	17
心疾患	6	3	8	5
その他(腫瘍、特定疾患等)	172	128	136	150
計	492	374	423	432

(3) 年代別・性別の状況(精神疾患)

(単位：人・%)

年代	20代			30代			40代			50代			60代			合計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
取得者	17	39	56	22	33	55	15	32	47	26	23	49	2	1	3	82	128	210
在職者	1,992	2,417	4,409	3,013	3,300	6,313	2,448	2,949	5,397	4,444	3,376	7,820	1,346	568	1,914	13,243	12,610	25,853
在職者比率	0.85	1.61	1.27	0.73	1.00	0.87	0.61	1.09	0.87	0.59	0.68	0.63	0.15	0.18	0.16	0.62	1.02	0.81
R1取得者	10	27	37	28	22	50	18	32	50	33	28	61	3	3	6	92	112	204

(参考) 長期療養者の在職者比率(R元)：全国:1.05% 本県:0.79%(政令市含む)

(4) 長期療養者の傾向(精神疾患)

- 令和2年度の精神疾患による長期療養者数は210人であり、長期療養者全体の48.6%を占める。年代別では、20代が19人増加している。
- 令和2年度の在職者比率は20代女性が1.61%と高く、平成25年度以降、連続で高い状況である。

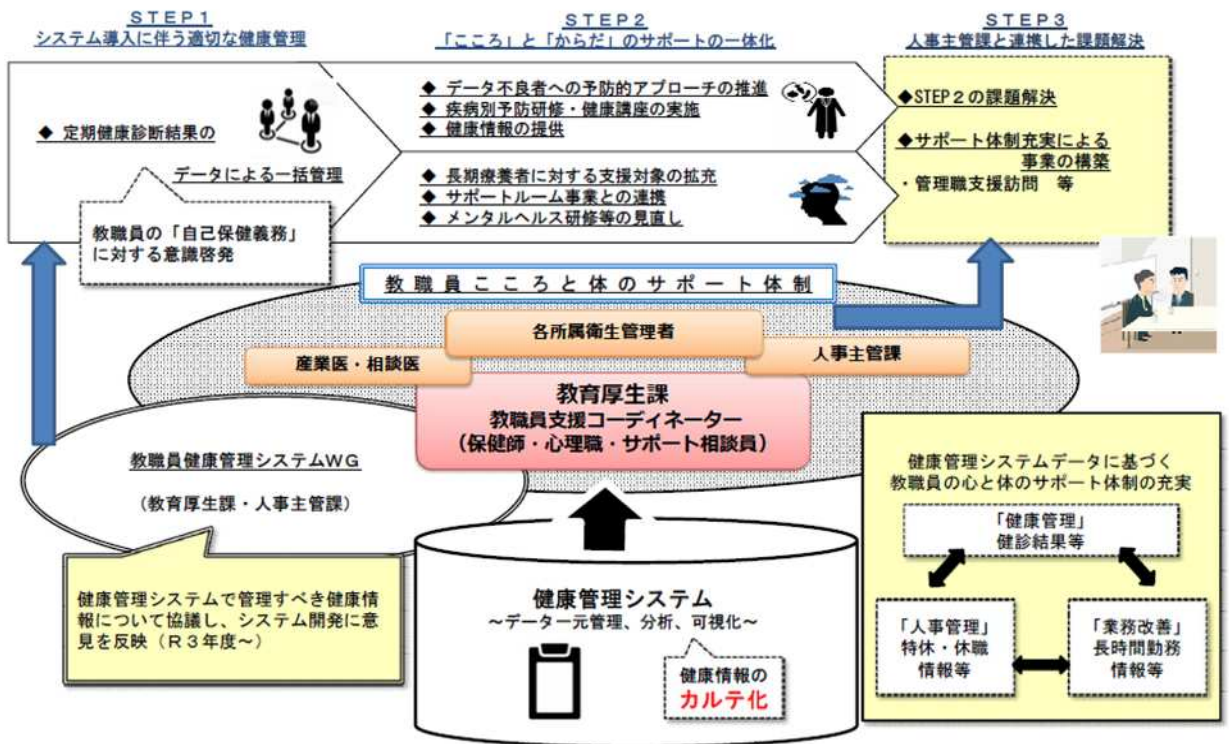
(参考)

1 メンタルヘルス対策の事業体系図

(抜粋)

段階	一次予防 心の健康の保持増進と 不調の未然防止	二次予防 メンタルヘルス不調の 早期発見・早期対応	三次予防 円滑な職場復帰と再発 防止
セル ケア	若手教職員メンタルヘルス研修 等 ストレスチェック ストレス・カウンセリング 教職員サポートルーム事業		「メンタルヘルス不調による長期療養者への支援の手引」に基づく対応 産業保健スタッフによる長期療養者への支援
ライン ケア等	職場の安全衛生管理者研修 新任管理者メンタルヘルス研修 等		

2 教職員こころと体のサポート体制の充実について



SNS を活用した相談体制構築事業報告

(教育政策課)

1 令和 2 年度事業概要

いじめ等をはじめとする子どもたちの悩みが深刻化する前に気軽に相談できる窓口として、若い世代が使い慣れている SNS を活用した相談体制を健康福祉部と連携して構築している。

(1) 健康福祉部と教育委員会の役割分担

健康福祉部：予算措置・執行、広報チラシ作成等、実績報告まとめ など

教育委員会：各学校への事業周知（チラシ配布等）、児童生徒に係る緊急時対応 など

(2) LINE 相談の予算措置の状況（令和 2 年度）

※新型コロナウイルス感染症に対応した心のケアを充実する観点から、太枠の部分
が補正予算で拡充された。

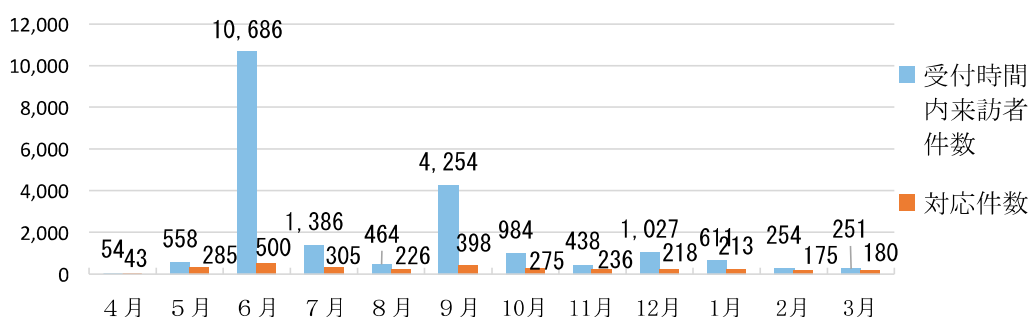
事業名	若者こころの SOS サポート事業費のうちLINE相談事業				
所管課	健康福祉部障害者支援局障害福祉課				
予算	32,000千円（通常分18,000千円+補正分14,000千円）				
期間	5月下旬 <small>(長期休業明け前後)</small>	6月～8月	8月下旬 <small>(長期休業明け前後)</small>	9月～3月	3月下旬 <small>(長期休業明け前後)</small>
時間	平日	午後3時～午後9時 <small>(補正にて拡充)</small>	午後3時～午後9時	午後3時～午後9時 <small>(補正にて拡充)</small>	午後3時～午後9時
	土日祝	午後5時～午後9時			
実施形態	民間委託				

※相談対応者は公認心理士等の有資格者

2 事業実績

- ・ 5 月下旬に学校再開に併せ中高生にチラシ配布。
(9 月にも相談期間拡充に伴い、中学 3 年生、高校生にチラシ配布)
- ・ 年間を通じて、長期休業明けの 6 月（学校再開後）、9 月（夏休み明け）に利用者が急増した。他の月については、数百件から千件程度で推移している。
- ・ 6 月に見られた同一人物（いたずら）や頻回来訪者（相談でなく雑談を延々とする等。主に中学生）は、年度後半に向けて沈静化。
- ・ 相談を受け付けられなかった場合は、電話相談の番号を案内。

◆ 月別相談件数



◆年間相談件数

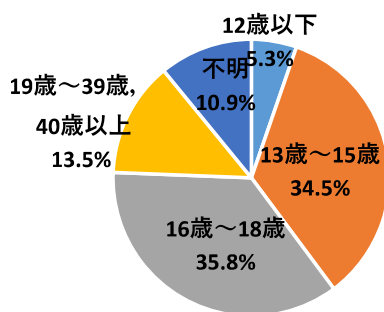
年度	所管課	期間	受付時間内 来訪者件数	対応件数
令和 2年度	教育委員会 健康福祉部	4/1～5/17の土日祝日、5/18～3/31 の毎日336日間	20,967件	3,054件
令和 元年度	教育委員会	土日祝日80日間	749件	441件
	健康福祉部	長期休業明け(5, 8, 3月)前後30日間	1,103件	767件

◆主訴別相談件数 (詳細は別紙)

- ・「人間関係・性格の悩み」が4割以上で最多(前年度とほぼ同様の傾向)
- ・コロナ関係の相談件数 6月～3月 累計67件

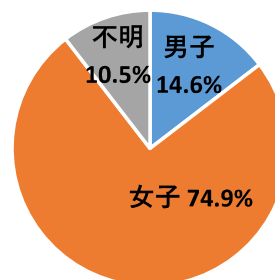
6月	500件中12件	7月	305件中7件	8月	226件中10件
9月	398件中8件	10月	275件中3件	11月	236件中4件
12月	218件中6件	1月	213件中7件	2月	175件中3件
3月	180件中7件				

◆年齢別 (対応件数の内訳)



※令和元年度の状況(教委分)
中学生28%、高校生67%

◆性別



男13%、女81%

3 今後の対応

- ・引き続き、学校に対する広報や高校生以下の児童生徒等に関する緊急事態発生時の対応等、健康福祉部と緊密に連携しながら事業を推進する。
- ・今年度も新型コロナウイルス感染症に対応した心のケアを充実する観点から、通年で平日、土日祝日問わず毎日相談を受けられるような体制をとる。

LINE相談の予算措置の状況(令和3年度)

事業名	SNS悩み相談窓口事業
所管課	健康福祉部障害者支援局障害福祉課
予算	30,500千円
期間	4月～3月 (通年で平日、土日祝日問わず毎日実施)
時間	午後4時～午後9時
実施形態	民間委託

◆主訴別件数内訳（令和2年4月～令和3年3月）

別紙

